

平成26年度静岡大学電子工学研究所共同研究プロジェクト研究会レジュメ (イメージングデバイス応用プロジェクト)

P-65 アルコールCVDグラフェン材料のイメージングデバイス応用

- 研究会
 - 場所 静岡大学電子工学研究所会議室
 - 日付 2015年3月6日(金) 14:00 ~ 17:00
- 目次
 - I. 研究者紹介
 - II. プロジェクトの目的
 - III. 研究計画概要と結果
 - IV. ディスカッション
 - V. まとめと今後の計画
- 研究者

中村篤志	静岡大学大学院工学研究科 講師	代表	グラフェン成長
猪川洋	静岡大学電子工学研究所 教授		グラフェンデバイス
影島博之	島根大学大学院 総合理工学研究科 教授		理論解析
久保野敦史	静岡大学大学院工学研究科 教授		電極応用・デバイス展開
佐藤弘明	静岡大学電子工学研究所 助教		グラフェンデバイス
	(協力)		
佐藤裕人	静岡大学大学院工学研究科 2014年修了		グラフェンデバイス
中垣貴充	静岡大学大学院工学研究科 2014年修了		電極応用液晶デバイス
タンエン	静岡大学大学院工学研究科 修士1年		グラフェン成長
- 研究目的

グラフェン膜の新規デバイス展開について共同研究を行う。安価で安全なアルコールを原料に用いたグラフェン膜の直接成長技術を基に透明電極の可能性を追求する。具体的にはフレキシブルディスプレイ、電子ペーパー等ウェアラブルデバイスへの応用を目指し、グラフェン膜を基板とした有機分子の配向制御による新規無機/有機ハイブリッドデバイスや極薄膜をチャンネル層に用いた電子輸送デバイスへ展開する。
- 研究会プログラム
 1. 14:00-14:10 研究会の趣旨
 2. 14:10-14:50 グラフェンの電気磁気特性と熱電変換特性 (仮題目) (影島)
 2. 14:50-15:10 アルコールCVDグラフェン直接成長のドメイン拡大 (中村)
 3. 15:10-15:30 新しい成長基板の試み (BaF₂) (タンエン・久保野)
 4. 15:30-15:50 グラフェン電極&液晶分子配向膜としての応用 (中垣・久保野)
 5. 15:50-16:10 グラフェンチャンネルデバイス (佐藤・猪川)
 6. 16:10-16:40 フリーディスカッション
 7. 16:40-17:00 閉会